

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—40

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	冬期就労対策事業			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名 氏名	課長 石井弘道	作成者 職名 氏名 澤田朋朗
事業の概要	冬期間における通学路を含めた歩道の確保、公営住宅団地内の通路、防雪柵解体作業、町道排雪作業の補助、各保育所及び社会福祉施設前庭、各バス待合室前等の除雪を行っている。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業 □非登載事業		
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
	基本政策	4	商工業の振興	
	単位施策	4	勤労者の就労環境の向上	
	事務事業の種類	■自治事務 □法定受託事務		
	その他計画・根拠等	地域雇用開発促進法		
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	1,410千円	1,051千円	2,000千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	1,410千円	1,051千円	2,000千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	冬期間失業となる労働者	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	通年雇用が確保できないため、日々の生活が不安定となり、消費経済が鈍化する。		冬期間就労人口の増加								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	冬期失業者の解消		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	最低限の生活保障が実現され、町の消費経済(購買力)が活発化・生活上の安全性が確保される。		① 実績人数	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>180%</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	20人	実績値	36人	達成度
目標年度	19年度										
目標値	20人										
実績値	36人										
達成度	180%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①除排雪業務の委託	冬期における通学路を含めた歩道の確保、公営住宅敷地内の通路、防雪柵解体作業、町道排雪作業の補助、各保育所・社会福祉施設・バス待合室前の除排雪を実施。										
②											
③											

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	公共事業が減少している中で、冬期間の除排雪作業等については恒久的に必要であり、自治体発注のウェイトが大部分を占めるため必要である。商工業経済の向上により通年雇用が促進された場合には、見直し・調整が必要となる。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	当該事業の実施により、目標値20人に対し、19年度実績が36人であり、目標を達成している。
有効／概ね有効／課題あり		

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	公共工事に使用する労務単価を使用するなど、過剰なコスト算定は行われておらず効率的と判断する。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当       B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要       D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
冬期における通学路を含めた歩道の確保、公営住宅敷地内の通路、防雪柵解体作業、町道排雪作業の補助、各保育所・社会福祉施設・バス待合室前の除排雪を実施することにより、冬期就労の場が確保され、消費経済の向上、生活上の安全性が確保されるため計画どおりの事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向 (Action)

<b>継続／現状維持</b>		
公共事業が減少している中で、冬期間の除排雪作業等については恒久的に必要であり、自治体発注のウェイトが大部分を占めるため町の関与が必要である。目的・効果の発現状況を見極めるとともに、商工業活動の向上を図り、それに伴う通年雇用の確保を図り、目標設定を増やし事業を継続実施する必要がある。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

--

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—41

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	通年雇用促進支援事業			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	石井弘道	職名
				氏名
				係長
事業の概要	季節労働者の通年雇用促進のため、西紋別地区各市町村による支援事業を実施する協議会への参加及び負担金の支出を行っている。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
	基本政策	4	商工業の振興	
	単位施策	4	勤労者の就労環境の向上	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等	地域雇用開発促進法・通年雇用促進支援事業計画		
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	千円	134千円	150千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	千円	134千円	150千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	季節労働者	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	通年雇用が確保できないため、日々の生活が不安定となり、消費経済が鈍化する。		西紋管内通年雇用者の増	
	季節労働者の通年雇用化		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
			① 実績人数 講習等参加人数	目標年度 19年度 目標値 12人 実績値 25人 達成度 208.3%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	最低限の生活保障が実現され、町の消費経済(購買力)が活発化・生活上の安全性が確保される。	②	目標年度 年度 目標値 実績値 達成度 %	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)				
①協議会への負担金支出	道の委託事業として実施しており、国・道の財源を計上した協議会事業が実施されている。内容は、事業者向け通年雇用支援セミナーの開催、求人情報提供、資格取得支援等が行われている。			
②				
③				

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	通年雇用確保については、当町のみならず過疎地域特有・共通の課題であり、単独事業では特定の企業への支援とならざるを得ない部分もあり事業実施範囲が限定される可能性があることから、広域的な事業実施が必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>概ね有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	当町の雇用情勢に直接反映されているとは言いがたいものの、セミナーの開催、求人情報の提供、技能資格取得支援事業の実施、それに参加する企業も増加しており、総体的に効果が発現しているものと判断する。
有効／概ね有効／課題あり		

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	国からの委託分と併せ、地域実施分と総体事業費に対する市町村負担金は小額であり、効率的といえるものと判断する。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当      B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要      D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
通年雇用確保については、当町のみならず過疎地域特有・共通の課題であり、単独事業では特定の企業への支援とならざるを得ない部分もあり事業実施範囲が限定される可能性があることから、広域的な事業実施が必要であり継続すべき事業と判断する。		

今後の展開方向

(Action)

<b>継続／現状維持</b>		
当町在住労働者の通年雇用化が図られることが最優先と考えるが、西紋別地域共通の課題解消に向けた事業であることから、近隣市町村との関係も勘案し、当分は現状維持が適当である。		

\* 展開方向の区分

継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合     
  終了     
  休止     
  廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—42

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	商工業経営改善普及事業補助金			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名 氏名	課長 石井弘道	作成者 職名 氏名 澤田朋朗
事業の概要	商工会法で定められている小規模事業者の経営及び技術の改善を図るためには、商工会による指導が必要不可欠であり、補助金交付規則に基づき商工会に補助支援を行っている。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
	基本政策	4	商工業の振興	
	単位施策	1	事業所の体力づくりへの支援	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等	商工会法		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	9,220千円	10,000千円	10,000千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	9,220千円	10,000千円	10,000千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町商工会	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	商工会の指導体制の強化		小規模事業者及び商工会会員数の確保(健全経営)		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	商工会の指導体制の強化を図り、商工業の経営改善による購買力の町外流出を防ぎ商店街の再生を図る。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	消費者ニーズを適切に把握し、各商店の経営が健全化され商工業の活性化が図られる。		① 会員数	目標年度	19年度
			目標値	220	
			実績値	198	
			達成度	90%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
① 商工会への人件費・指導事業費に対する補助の実施	・指導人件費(事業費-国・道補助金)×80%補助 ・指導事業費(事業費-国・道補助金)×70%補助				
②					
③					

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	商工会は小規模事業者の経営改善・発達を支援することが法律で定められており、これを指導する職員の配置は必須である。商工会において自己財源の確保が困難であることから、商工業の経営健全化等の推進の観点から、休止等の措置はできないものと判断される。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	消費低迷の影響、また、後継者の確保が困難等の理由から、廃業する店舗 (商工会脱退) が顕著となったことにより、目標値の商工会会員数等の達成状況は下回る形となったが、今後、事業者自らの自助努力による消費の町外流出に歯止めをかける対策が必要である。
有効／概ね有効／課題あり		

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	本補助金は、細部にわたっての精査の上補助金額を算定しており、今後の飛躍的な削減は見込めないものと判断する。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当       B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要       D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>	<b>A</b>	
目標達成度は下回ったものの、小規模事業者の経営改善・発達を支援することが必要であること、商工会において自己財源の確保が困難であることから、商工業の経営健全化等の推進の観点から、休止等の措置はできないものと考えられ、計画どおり事業を進めることが適当と判断される。		

今後の展開方向 (Action)

<b>継続／現状維持</b>	<b>継続／現状維持</b>	
消費の町外流出を抑えるため、商店街の共同セール・大型店に対抗できる流通形態の調査・研究・導入等、新たな事業展開が必要であり、商工会への指導事業も含め、現状どおりの支援が必要と判断する。		

\* 展開方向の区分

継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合     
  終了     
  休止     
  廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—43

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	商工振興特別事業補助金			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	石井弘道	職名
				氏名
				係長
事業の概要	町外への消費流出を防ぎ、地元での購買意識の高揚を図るためプレミアム商品券発行事業に対する補助支援を商工会に対して行っている。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
	基本政策	4	商工業の振興	
	単位施策	2	多様なビジネス展開の促進	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	1,200千円	1,200千円	1,200千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	1,200千円	1,200千円	1,200千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町商工会	指標/目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	町外の量販店・郊外大型ショッピングセンターへ購買が流出し地元購買力が低下している。		町内商工業の販売額の向上	
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	地元での購買意欲を喚起し、販売額の向上を目指す。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	商工業の経営基盤が安定し、町経済が活性化する。		①販売(換金)枚数 10,496枚/作製枚数 10,500枚	目標年度 19年度 目標値 10,500枚 実績値 10,496枚 達成度 99.9%
		②	目標年度 年度 目標値 実績値 達成度 %	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)				
①プレミアム商品券の発行に係る割引率の補助	1枚1,000円を850円で販売、15%の割引率のうち12%を補助			
②				
③				

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	経済の長期低迷が続く中、町外流出が続く購買力の回復に向けて基盤安定に向けて当面、行政の支援は必要と判断する。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	概ね計画通りの枚数を販売できていることから、町民の意識定着は図られてきているものと判断する。
有効／概ね有効／課題あり		

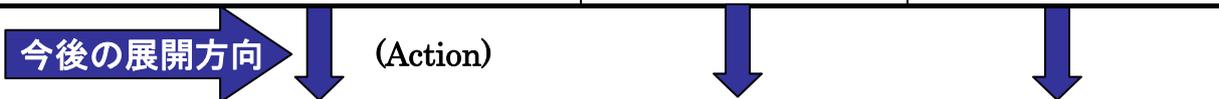
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>概ね効率的</b>	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	行政の補助も必要であるが、自助努力により住民のニーズに応えた魅力ある商品の提供が必要であり、共同セールの開催、流通形態の見直し等、価格差を補う等の対策が迫られている。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当      B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要      D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>	<b>A</b>	
課題は残るものの、事業効果が発現しており、自助努力により住民のニーズに応えた魅力ある商品の提供、共同セールの開催、流通形態の見直し等、価格差を補う等の対策が講じられるまでは補助が必要と判断する。		



<b>継続／現状維持</b>	<b>継続／現状維持</b>	
課題は残るものの、事業効果が発現しており、自助努力により住民のニーズに応えた魅力ある商品の提供、共同セールの開催、流通形態の見直し等、価格差を補う等の対策が講じられるまでは補助が必要と判断する。	指標・目標の視点は、事業効果や成果指標を今後考えること。本事業は、将来的に見直し (新たな事業展開) することが必要である。	

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—44

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	雄武町中小企業貸付金保証料補給事業			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	石井弘道	職名
				氏名
				係長
事業の概要	雄武町中小企業等振興条例に基づき、融資を受けた中小企業者が支払った保証料の80%を補給している。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
	基本政策	4	商工業の振興	
	単位施策	1	事業所の体力づくりへの支援	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等	雄武町中小企業等振興条例		
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	1,143千円	700千円	1,370千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	1,143千円	700千円	1,370千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	中小企業者等	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題や二一ズは】	経済の低迷による消費の低下等により、企業利益が向上せず設備投資等、継続的な資金調達が必要となっている。		円滑な融資が継続され、経営基盤が安定する		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	本事業による借入に係る保証料を補助することにより、保証料の滞りによる融資停止等を避け、円滑な融資をうけられる。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	融資の停止等が回避され、円滑な融資が継続され、経営基盤の安定が図られる。		① 融資件数	目標年度	19年度
			目標値	18	
			実績値	18	
			達成度	100%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
① 中小企業融資に係る保証料の補給補助	融資を受けた中小企業者が支払った保証料の80%を補給する。				
②					
③					

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	中小企業等の経営基盤安定のために行政としての支援が必要と判断する。なお、金融機関・保証協会の融資に対する規制等の緩和が図られた場合は、一考すべきと判断する。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	本補給補助の実施により、円滑な保証料支払い・融資の継続性が確保されている。
有効／概ね有効／課題あり		

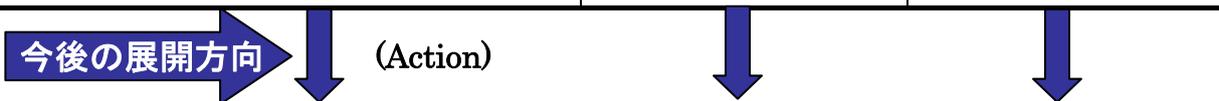
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	中小企業の支払った保証料実績に応じた補給補助であるため、過剰な補給補助は発生しておらず、効率的と判断する。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当       B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要       D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
中小企業等の経営基盤安定のために行政としての継続支援が必要と判断する。なお、金融機関・保証協会の融資に対する規制等の緩和が図られた場合は、一考すべきと判断する。		



<b>継続／現状維持</b>		
中小企業等の経営基盤安定のために行政としての継続支援が必要と判断する。なお、金融機関・保証協会の融資に対する規制等の緩和が図られた場合は、一考すべきと判断する。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—45

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	雄武町中小企業融資預託貸付金			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	石井弘道	職名
				氏名
事業の概要	地域の中小企業等の多岐にわたる経済活動を支援するため、町は一定範囲にて町内信用金庫に資金を預託し、各信用金庫は独自資金に預託金を加えることにより融資の原資を確保している。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
	基本政策	4	商工業の振興	
	単位施策	1	事業所の体力づくりへの支援	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等	雄武町中小企業等振興条例		
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	50,000千円	50,000千円	50,000千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額 (一般財源)	0千円	0千円	0千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	中小企業等	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	企業の事業継続展開には的確な資金運用、設備投資が必要であり、貸付制度がなければ企業の存続が困難となる。		継続的な事業展開により、雇用の確保、経済の活発化								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	貸付制度の利用により、継続的な事業展開が可能となる。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	継続的な事業展開により、雇用の確保、経済の活発化が図られる。		① 融資件数	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>57.9%</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	19	実績値	11	達成度
目標年度	19年度										
目標値	19										
実績値	11										
達成度	57.9%										
内容(どのような手段で何を行ったか)											
①各金融機関への貸付金預託	地域の中小企業等の多岐にわたる経済活動を支援するため、町は一定範囲にて町内信用金庫に資金を預託し、各信用金庫は独自資金に預託金を加えることにより融資の原資を確保している。										
②											
③											

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	継続的な事業展開により、雇用の確保、経済の活発化が図られることとなり必要と判断する。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	19年度の融資実績は18年度を下回ったものの、中小企業の運転資金の調達時期等について企業の運営計画に左右され、予測し難い面もあるが、融資実績の減少については、企業の経営の健全が図られているものと判断され、本事業は有効と判断される。
有効／概ね有効／課題あり		

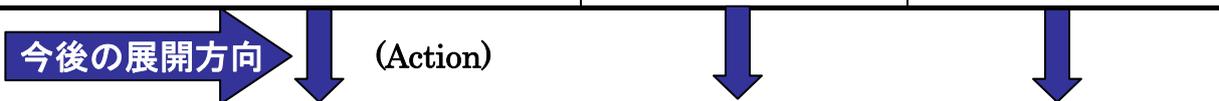
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	貸付金を預託するものの、年度末に元金に戻る形となり、減資とはならず効率的と判断する。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当       B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要       D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
継続的な事業展開により、雇用の確保、経済の活発化が図られることとなり必要と判断する。		



<b>継続／現状維持</b>		
中小企業の運転資金の調達時期等について企業の運営計画に左右され、予測し難い面もあるが、融資実績の減少については、企業の経営の健全が図られているものと判断、本事業は有効と判断され、継続的な事業展開により、雇用の確保、経済の活発化が図られることとなり必要と判断する。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—46

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	雄武町消費者協会運営補助金			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	石井弘道	職名
				氏名
事業の概要	地域の消費者（町民）に対して、消費の合理化（家計の効率化、安心・安全なもの消費等）を普及するとともに、悪質商法等による消費者の利益を保護し、消費生活の安定向上を図るため、活動運営費の一部を補助している。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	7	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
	基本政策	1	防犯・交通安全の推進	
	単位施策	2	防犯体制の強化	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	200千円	200千円	200千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	200千円	200千円	200千円

2 事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が(対象)】	雄武町消費者協会	指標／目標	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	協会事業の運営（会費徴収）は健全といえるが、協会員の高齢化、消費相談体制（専門者育成）の確立を要する。		消費相談件数が皆無であり、日常消費生活上の安全性が確保される		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	会員の活動強化、消費相談専門体制の確立により、通年恒久的な消費対策事業の実施・啓蒙		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町民（消費者）の日常消費生活上の安全性が確保される。		① 相談件数	目標年度	19年度
			目標値	0	
			実績値	1	
			達成度	0%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容（どのような手段で何を行ったか）					
①運営補助金補助	毎月20日に行われる定例消費相談、協会員向け情報提供、消費生活展の開催				
②					
③					

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>概ね必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	会員より会費を徴しての運営は健全といえるものの、協会の消費相談に対応する専門員の育成が急務であり、町が事務局を担う状況の解消、民間レベルでの運営体制の確立が必要と考える。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>概ね有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	現実には、消費相談対応は事務局が行っており、その点においては課題が残る。消費生活啓蒙等の活動については概ね達成しているものと判断する。
有効／概ね有効／課題あり		

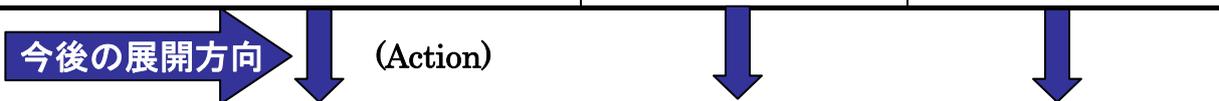
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	運営補助金については、原状の運営状況から必要最低限の補助であり、充分削減しているものと判断する。しかし、会員の活動意識の高揚により会費の増額となった運営の場合は補助廃止も考えられる。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当       B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要       D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
現時点において会員の高齢化の解消・消費相談専門員の育成等の課題等が解消されるまでの間は、現状どおり事業を進めることが適当と判断する。		



<b>継続／現状維持</b>		
会員の高齢化の解消・消費相談専門員の育成等の課題等が解消されることにより、消費者のニーズに応えるサービスが行え、消費者が安全に生活できる体制が構築できる。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—47

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	地域交流センター管理・清掃業務委託			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	石井弘道	職名
				氏名
				係長
事業の概要	地域交流センター内に事務所を開設している雄武町商工会に、施設の管理業務及び清掃業務を委託している。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
	基本政策	4	商工業の振興	
	単位施策	3	住民を支える商店街づくりへの支援	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等	地域交流センター条例		
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	5,481千円	5,481千円	5,481千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	5,481千円	5,481千円	5,481千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町商工会	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	地域交流センターは「道の駅」でもあり、より充実した運営・管理が望まれ、民間ノウハウを活用した指定管理者制度導入の検討を要する。		良好な管理・運営の実施により利用者へのサービスを図る								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	地域交流センターは「道の駅」であり、通年で多くの人々が立ち寄る場所でもあり、市街地の中心に位置し雄武の顔とも言え、良好な管理・運営の実施により利用者へのサービスを図る。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	上記を達成することにより、観光案内等も行うことから利用者へのサービス向上が図られる。		① 利用者数	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>17,028</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>14,052</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>82.5</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	17,028	実績値	14,052	達成度
目標年度	19年度										
目標値	17,028										
実績値	14,052										
達成度	82.5										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内容(どのような手段で何を行ったか)											
①施設の維持管理・清掃業務の委託	施設内に事務所を開設している商工会への業務委託										

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	施設内に事務所を開設しており、施設状況を熟知している商工会に委託することにより、効率化が図られる。また、商業地域内の中核施設としての位置づけでもあることから、商工業に精通している団体に委託することが適当と思慮する。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	施設の管理状況の報告、異常個所の報告等、迅速な対応もなされており、有効と判断する。
有効／概ね有効／課題あり		

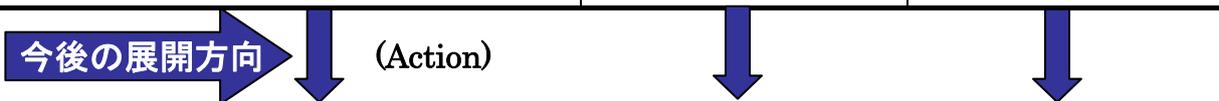
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

[ A: 計画どおり事業を進めることが適当      B: 事業の進め方等に改善が必要 ]  
 [ C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要      D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要 ]

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		



<b>継続／現状維持</b>		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合     終了     休止     廃止

### 5 その他特記事項

--

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—48

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	商店街近代化事業推進補助金			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	石井弘道	職名
				氏名
				係長
事業の概要	大通り商店街近代化事業については、平成9年度の共同施設の完成をもって完了したものの、公共性の極めて高い国道（大通り商店街）の街灯について、他の街灯料金に対する各自治会への補助同様、その電気料を補助している。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
	基本政策	4	商工業の振興	
	単位施策	3	住民を支える商店街づくりへの支援	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	450千円	320千円	320千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	450千円	320千円	320千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	大通り商店街協同組合	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	大通り商店街協同組合員の減少(廃業等)、組織体制の強化		消費者ニーズに応える販売方法の改善・組合員数の増に伴う賑わい		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	組合員の増加、空き店舗の活用等、大通り商店街の活性化を図る。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	消費者ニーズに応える販売方法の改善・組合員数の増		① 街灯数	目標年度	19年度
			目標値	11	
			実績値	11	
			達成度	100%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①街灯電気料の補助	共同施設の完成以後、現時点においては街灯電気料の補助のみとなっているものの、今後は、町民のニーズに応える販売形態の確立、地元還元の意味合いの共同セール・交流イベントの実施が必要である。				
②					
③					

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	本来は自助努力により街灯費の負担を行うべきものであるが、組合維持運営に係る経費増から困難と判断する。また、夜間の防犯上、商店街の集客上、公共性の高いものと判断され、町による補助が必要と判断する。さらに、自治会への街灯費補助との関連も視野に入れ、必要と判断される。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	これまでに商店街での犯罪が少ないこと、限られた予算において、サンパロットまつりの開催や冬期イルミネーションの設置による街並み装飾・植栽等の活動を行っていることを鑑み有効と判断する。
有効／概ね有効／課題あり		

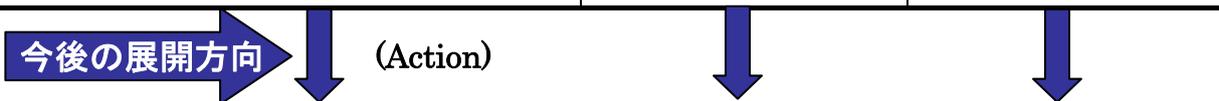
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	街灯費は自治会への補助同様全額としているものの、イベント等への補助は半額とするなど抑制措置を講じている。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当      B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要      D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
自助努力による運営が可能となるまでの期間、現行の措置を継続する必要がある。		



<b>継続／現状維持</b>		
自助努力による運営が可能となるまでの期間、現行の措置を継続する必要がある。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合     
  終了     
  休止     
  廃止

### 5 その他特記事項

--

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—49

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	中小企業振興事業			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	石井弘道	氏名
				係長
				澤田朋朗
事業の概要	地域の中小企業等の多岐にわたる経済活動を支援するため、新製品開発に対する助成、施設設置（新設・増改築）に対する助成を行っている。			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業 <input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業		
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
	基本政策	4	商工業の振興	
	単 位 施 策	1	事業所の体力づくりへの支援	
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
	その他計画・根拠等	雄武町中小企業等振興条例		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	280千円	1,000千円	千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	280千円	1,000千円	千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	中小企業者等	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	経済の長期低迷が続く中、補助等なくしては、新たな起業・設備投資が行える情勢にはない		補助の活用による新規設備投資等が行われ、企業経済活動の活性化		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	補助の活用による新規設備投資等が行われ、企業経済活動の活性化		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	地元経済の活性化		① 制度利用件数	目標年度	19年度
			目標値	2	
			実績値	1	
			達成度	50%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①施設整備に対する補助	施設設置に係る助成については固定資産税評価額(1,000万円を超えるものは1,000万円)の10/100相当額、新製品開発に係る助成については、事業に要した経費(1,000万円を超えるものは1,000万円)の10/100相当額を補助する。				
②					
③					

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	補助の活用による新規設備投資等が行われ、企業経済活動の活性化が図られ、本事業は必要と判断される。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input checked="" type="checkbox"/> 下回る	補助の活用による新規設備投資等が行われ、企業経済活動の活性化が図られ、有効と判断される。
有効／概ね有効／課題あり		

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	条例に従った補助制度の活用であり、施設整備については固定資産評価額を算定根拠に、新製品開発については、事業に要した経費を精査の上、補助しているため、過剰な補助はなく効率的と判断する。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当      B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要      D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
条例に従った補助制度の活用であり、施設整備については固定資産評価額を算定根拠に、新製品開発については、事業に要した経費を精査の上、補助しているため、過剰な補助はなく効率的であり、補助の活用による新規設備投資等が行われ、企業経済活動の活性化が図られ、有効と判断される。		

今後の展開方向 (Action)

<b>継続／現状維持</b>		
補助の活用による新規設備投資等が行われ、企業経済活動の活性化が図られ、有効と判断される。よって、今後も継続支援が必要である。		

\* 展開方向の区分

継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合     
  終了     
  休止     
  廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—50

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	インターナショナル・オホーツクサイクリング			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	石井弘道	職名
				氏名
事業の概要	オホーツク沿岸の市町村等により組織される実行委員会により開催され、当町を出発点とし、斜里町までを走破するイベントである。特に当町で開催する前夜祭においては、官民一体となって「おもてなしの心」をもってサイクリストを歓迎する事業を実施している。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
	基本政策	5	観光の振興	
	単 位 施 策	3	おもてなし力の強化	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総 事 業 費	2,592千円	2,633千円	2,900千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	2,592千円	2,633千円	2,900千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	サイクリスト	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	20年度で27回目を数え、新鮮味が薄れている。また、参加者数が減少している。参加費の軽減も検討事項である。		指標／目標	参加者の増加		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	オホーツクライン、とりわけ出発地点である当町の観光PRの効果は大きいと考え、本事業の継続実施を図る。			指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	開催当初レベルの参加者の確保、雄武町の人・もの等のPR			① 参加人数	目標年度	19年度
				目標値	900人	
			実績値	847人		
			達成度	94%		
		②	目標年度	年度		
			目標値			
			実績値			
			達成度	%		
内 容 (どのような手段で何を行ったか)						
①実行委員会への負担金支出	管内最大のイベントであり、雄武・北見・斜里の3市町で持ち回り運営しており、参加費の充当のほか、各市町村から負担金を支出し運営に充てている。					
②前夜祭実行委員会への支出	サイクリスト歓迎のため、前夜祭実行委員会を組織し、雄武の味覚の提供・抽選会の実施等、官民一体となったおもてなしをしている。					

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	管内最大のイベントとして定着しており、町民も参加者へのもてなしの意識が定着しているため、町民の理解を得ているものと判断する。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	本事業の実施による道内外からの参加者を通しての雄武町のPR、広告媒体による雄武町のPR効果は大きく、観光PR面からも有効と判断する。
有効／概ね有効／課題あり		

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	近年参加者は減少傾向にあり、運営面において課題があるものの、発注品単価の抑制等を実施しており、効率的と判断するものの、参加料の軽減等を含め今後の継続実施に向け、総括的な検証が必要である。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当      B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要      D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
近年参加者は減少傾向にあり、運営面において課題があるものの、これまで実施できた背景には参加者のニーズが高いことが挙げられる。参加料の軽減等を含め今後の継続実施に向け総括的な検証を行った上で、継続実施する必要がある。		

今後の展開方向

(Action)

<b>継続／現状維持</b>		
近年参加者は減少傾向にあり、運営面において課題があるものの、これまで実施できた背景には参加者のニーズが高いことが挙げられる。参加料の軽減等を含め今後の継続実施に向け総括的な検証を行った上で、継続実施する必要がある。		

\* 展開方向の区分

継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合     
  終了     
  休止     
  廃止

### 5 その他特記事項

--

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—51

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	第29回雄武町産業観光まつり補助金			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	石井弘道	氏名
		職名		係長
				氏名
事業の概要	町の物産と観光を広く町内外に紹介し、農林水産業及び商工業の振興を図るとともに、全町民参加型の祭典としている。内容は、特産品の展示即売・各種アトラクション・ゲーム等			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
	基本政策	5	観光の振興	
	単 位 施 策	1	雄武観光の売り込み	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	2,500千円	2,500千円	4,000千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	2,500千円	2,500千円	3,000千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	産業観光まつり実行委員会	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	付加価値複合品の開発・販売等PR、核となるアトラクション等の確立		魅力あるアトラクション・販売品目による集客数の増加		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	魅力あるアトラクション・付加価値販売品目の創造		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	魅力あるアトラクション・付加価値販売品目の創造による集客増		① 入込み数	目標年度	19年度
			目標値	26,000	
			実績値	25,000	
			達成度	96.2	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①補助金の支出	特産品の展示販売、各種アトラクションの実施				
②					
③					

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	町の物産と観光を広く町内外に紹介し、農林水産業及び商工業の振興を図るとともに、全町民が参加できるイベントとして必要と判断する。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	入込みが減少傾向にあった中で、町民も含めて来場者が参加しやすいゲーム・クイズの実施・特産物が安価で購入できるといったこともあり、2万5千人の来場を数え、有効と判断できる。
有効／概ね有効／課題あり		

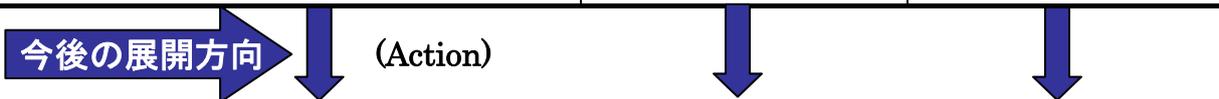
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	実行委員会各構成団体にあつては、限られた予算・人員の中で企画実施しており、効率的と判断する。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当       B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要       D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
町の特産物が安価で購入できるとともに、各種アトラクションで楽しめることから、町外からの集客も多く、今後も農林水産業・商工業の振興・観光PRのため継続実施が必要と考える。		



<b>継続／現状維持</b>		
町の特産物が安価で購入できるとともに、各種アトラクションで楽しめることから、町外からの集客も多く、今後も農林水産業・商工業の振興・観光PRのため継続実施が必要と考える。また、これまでにないアトラクションの実施や既存特産物に付加価値をつけた物の開発・販売を実施すべきと考える。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—52

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	雄武町観光協会運営補助金			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	石井弘道	職名
				氏名
事業の概要	雄武町観光協会への運営補助を行うものである。観光協会の主な事業としては、産業観光まつりの協賛、ホームページ開設、毛ガニプレゼント事業、フォトコンテスト、観光ハンドブック作製などである。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
	基本政策	5	観光の振興	
	単 位 施 策	1	雄武観光の売り込み	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	2,300千円	2,100千円	1,800千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	2,300千円	2,100千円	1,800千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町観光協会	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	新規事業の創出(町外へ出向いての特産品の販促活動等)により、町・特産品のPRを強化する必要がある。		雄武町への滞在型観光の促進。								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	雄武町への滞在型観光の促進。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	地元経済効果が発現し、消費・流通が活発化する。		① 観光入込み数	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>117,600</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>110,600</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>94</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	117,600	実績値	110,600	達成度
目標年度	19年度										
目標値	117,600										
実績値	110,600										
達成度	94										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①補助金の支出	ホームページ開設による観光情報の配信等、毛がにプレゼントやフォトコンテストの実施等事業展開をしている。										
②											
③											

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	既存の事業展開に含め、今後は他地域に出向いての特産物の積極的な販売PRの実施、観光ガイド等地域リーダーの育成も必要であり、継続実施することが必要と考える。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	ホームページの開設により、雄武町の情報を手軽に入手できる環境を整備、毛がにプレゼントやフォトコンテストの実施により雄武町のPRできたものと判断する。
有効／概ね有効／課題あり		

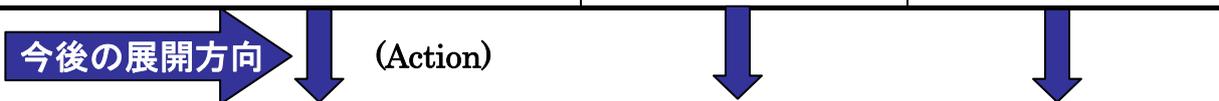
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	補助金の他に収入源のない協会運営にとって、町が積極的に行うべき役割もあるため、運営に対する補助も含め、運営は効率的と判断する。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当       B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要       D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
補助金の他に収入源のない協会運営にとって、町が積極的に行うべき役割もあるため、運営に対する補助も含め、運営は効率的と判断し、継続支援が必要と判断する。		



<b>継続／現状維持</b>		
既存事業に加え、新たな雄武の食のPR展開、特産品の販売PR強化、観光ガイド等地域リーダーの育成等のため、継続支援が必要と判断する。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 8—53

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	サンライズ王国運営補助金			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	石井弘道	職名
				氏名
				係長
事業の概要	町おこしグループとしての位置づけの同団体への運営費助成を実施している。王国の主な活動として、町民が集い楽しめる独自イベント（ビアガーデン・サンパロットまつり等）の開催、町内のごみ拾い・イルミネーション等の四季に合わせた景観装飾・産業観光まつりを始めとする町イベントへの協力が挙げられる。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
	基本政策	5	観光の振興	
	単位施策	2	雄武観光の魅力化	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	300千円	300千円	300千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	300千円	300千円	300千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	サンライズ王国	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	会員の減少に伴う独自事業の縮小		会員増及び独自事業の開催増		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	会員数増加による主催事業の開催・雄武町の魅力のPR(特産品PRを含む)の実施		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	本町の滞在型観光の振興、青年・異業種間交流による町おこし原動力の創出		① 事業数	目標年度	19年度
			目標値	7	
			実績値	7	
			達成度	100	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①補助金の支出	町民が集い楽しめる独自イベント(ビアガーデン・サンパロットまつり等)の開催、町内のごみ拾い・イルミネーション等の四季に合わせた景観装飾・産業観光まつりを始めとする町イベントへの協力を実施している。				
②					
③					

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	会員及び事業数の減少により補助金額も減額としている中で、町や他団体が行う事業に積極的に参加協力しており、今後、町おこしのための新規事業展開が期待されることから、継続支援は必要と判断される。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	会員及び事業数の減少により補助金額も減額としている中で、町や他団体が行う事業に積極的に参加協力していることから効率的と判断される。
有効／概ね有効／課題あり		

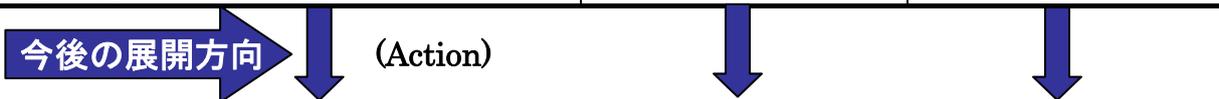
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	会員及び事業数の減少により補助金額も減額としている中で、町や他団体が行う事業に積極的に参加協力していることから効率的と判断される。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当      B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要      D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>	<b>B</b>	
会員及び事業数の減少により補助金額も減額としている中で、町や他団体が行う事業に積極的に参加協力しており、今後、町おこしのための新規事業展開が期待されることから、継続支援は必要と判断される。	各種イベントには貢献しているが、独自事業がない。	



<b>継続／現状維持</b>	<b>継続／現状維持</b>	
会員及び事業数の減少により補助金額も減額としている中で、町や他団体が行う事業に積極的に参加協力しており、今後、町おこしのための新規事業展開が期待されることから、継続支援は必要と判断される。	王国本来の事業を推進すること。	

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—54

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	日の出岬展望台維持管理事業			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	石井弘道	職名
				氏名
事業の概要	日の出岬展望台は、雄大なオホーツク海等が眺望でき多くの観光客が訪れる施設である。特に、キャンプ利用者による日の出、また、冬期の流水眺望に利用され、重要な観光スポットとなっており、利用者のサービス向上のため、施設の良い維持管理を行うものである。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
	基本政策	5	観光の振興	
	単位施策	2	雄武観光の魅力化	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	1,113千円	1,113千円	1,140千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額 (一般財源)	1,113千円	1,113千円	1,140千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内外の観光客等利用者	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	整備後の経年で老朽化・修繕箇所の増加		観光リピーター等の増加								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	定期的な清掃による美観の維持		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	観光リピーター等の増加		①	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①清掃業務の委託	展望台内部及び外部周辺の清掃・ごみ処理、冬期の除雪、故障・破損・異常箇所の報告										
②											
③											

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	夏期においてはキャンプ客等による利用、冬期間においては、流水観光客の利用がなされ、通年通しての維持管理が必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	夏期においてはキャンプ客等による利用、冬期間においては、流水観光客の利用がなされ、通年通して利用できる環境を整えている。
有効／概ね有効／課題あり		

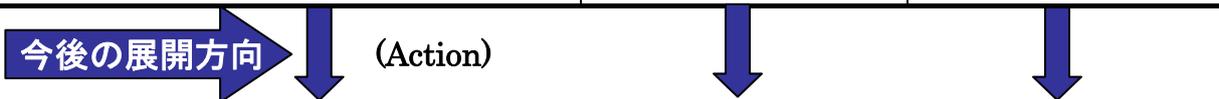
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	本施設の維持管理業務に精通している業者へ発注することにより、あらゆる面での維持管理コストを抑制でき効率的である。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当     
  B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要     
  D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
夏期においてはキャンプ客等による利用、冬期間においては、流水観光客の利用がなされ、通年通して利用できる環境を整える必要がある。		



<b>継続／現状維持</b>		
夏期においてはキャンプ客等による利用、冬期間においては、流水観光客の利用がなされ、通年通して利用できる環境を整えるため継続実施が必要である。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合     
 終了     
 休止     
 廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—55

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	各観光施設維持管理委託事業			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	石井弘道	職名
				氏名
				係長
事業の概要	本町の観光拠点である日の出岬地区の観光施設における、芝刈り・清掃・維持管理業務の一体的業務委託を実施している。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興	
	基本政策	5	観光の振興	
	単位施策	2	雄武観光の魅力化	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	3,572千円	3,572千円	8,640千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	3,572千円	3,572千円	8,640千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内外の観光客等利用者	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	整備後の経年で老朽化・修繕箇所の増加		観光リピーター・新規集客の増加		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	美観の維持・危険度の回避の為迅速な維持管理対応		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	観光リピーター・新規集客の増加		① キャンプ場利用人数	目標年度	19年度
			目標値	10,527	
			実績値	7,752	
			達成度	73.6	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①日の出岬地区観光施設の一体的維持管理	各観光施設の芝刈り・清掃、冬囲いの実施				
②					
③					

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	各観光施設の芝刈り・清掃、冬囲いの実施の他、今後逐次施設修繕の必要が予想され、来場者に心地よく利用してもらうため必要と判断する。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	通常の維持管理の他、年次計画をもって要改善箇所の把握を行い、有効に実施している。
有効／概ね有効／課題あり		

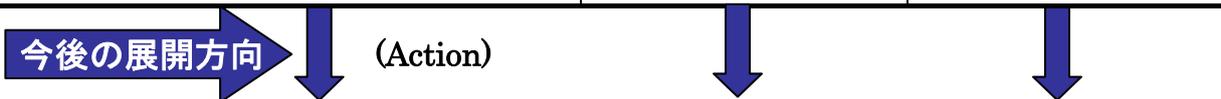
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	各施設の維持管理を一括発注することにより、事業費・人件費の抑制されており、効率的である。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当      B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要      D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>	<b>A</b>	
各観光施設の芝刈り・清掃、冬囲いの実施の他、今後逐次施設修繕の必要が予想され、来場者に心地よく利用してもらうため必要と判断する。		



<b>継続／現状維持</b>	<b>継続／現状維持</b>	
通常の維持管理の他、年次計画をもって要改善箇所の把握を行い、有効に実施している。また、各施設の維持管理を一括発注することにより、事業費・人件費が抑制されており、効率的であるものの、今後指定管理者導入に向けて検討するものである。	神門の滝を今後どうするのか考えること。	

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—56

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	観光PR用印刷物作成事業			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	石井弘道	氏名
				職名
				係長
				氏名
事業の概要	本町の観光拠点である日の出岬地区をはじめとし、各種イベントや特産品を紹介し、町の産業や観光について広くPRするものである。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興	
	基本政策	5	観光の振興	
	単位施策	2	雄武観光の魅力化	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	580千円	441千円	500千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	580千円	441千円	500千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町外からの観光客	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	観光入込み数が横ばい若しくは減少傾向にある。		観光入込み数の増加								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	雄武町の観光資源の魅力を十分にPRし、通過型観光から滞在型・定住型観光への転換を図る。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町の経済力の向上・人口の増が見込める。		① 作製部数	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	8,000	実績値	8,000	達成度
目標年度	19年度										
目標値	8,000										
実績値	8,000										
達成度	100%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①観光ガイドブックの作製	オールカラー(20ページ)のガイドブック8000部の増刷										
②											
③											

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	雄武町を含む圏域への旅行の際の情報としてパンフレット提供依頼が数多く寄せられており、媒体としての効果を発揮しているものと思慮する。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	雄武町を含む圏域への旅行の際の情報としてパンフレット提供依頼が数多く寄せられており、媒体としての効果を発揮しているものと思慮する。
有効／概ね有効／課題あり		

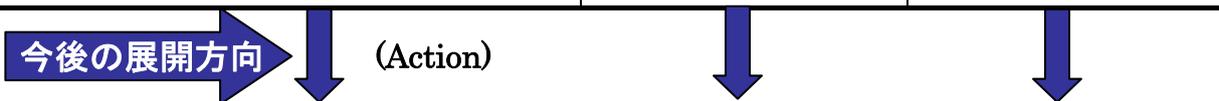
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	原油価格の高騰により材料の単価増とはなっているものの、作製数の年度間調整により効率的に作製、PRの媒体としている。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当      B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要      D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>	<b>A</b>	
雄武町を含む圏域への旅行の際の情報としてパンフレット提供依頼が数多く寄せられており、媒体としての効果を発揮しているものと思慮し、継続実施が必要と判断する。		



<b>継続／現状維持</b>	<b>継続／現状維持</b>	
雄武町を含む圏域への旅行の際の情報としてパンフレット提供依頼が数多く寄せられており、媒体としての効果を発揮しているものと思慮し、継続実施が必要と判断する。	雄武町の宣伝となる名刺の台紙作成を検討すること。	

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—57

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	メモリアル広場集中管理事業			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名 氏名	課長 石井弘道	作成者 職名 氏名 澤田朋朗
事業の概要	産業観光まつりをはじめとするイベント会場や、町民の野外活動等で利用されているメモリアル広場及び中山間緑地広場の維持管理を一体的に実施するものであり、また、町民の健康増進のための散策路として親しまれている健康の森の維持管理を実施している。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興	
	基本政策	5	観光の振興	
	単 位 施 策	2	雄武観光の魅力化	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総 事 業 費	2,349千円	2,300千円	2,480千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	2,349千円	2,300千円	2,480千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民等利用者	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	定期的な清掃、危険物の除去等を実施し、良好な環境を維持する。		町民等の利用者が安心して利用でき、心身ともにリフレッシュできる施設となる。								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	利用者の増加が図られ、安心して利用でき、心身ともにリフレッシュできる施設となる。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町民等の利用者が安心して利用でき、心身ともにリフレッシュできる施設となる。		①	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①メモリアル広場、中山間緑地、健康の森の一体的維持管理	草刈り・施設点検・清掃の一体的維持管理について業務委託を実施した。										
②											

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	利用者の増加が図られ、安心して利用でき、心身ともにリフレッシュできる施設であるためには、定期的な周辺環境整備が必要不可欠である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	直ちに利用者数の増加等の効果が発現しないものの、良好な周辺環境整備の維持管理によって、利用者のニーズには応えているものと判断する。
有効／概ね有効／課題あり		

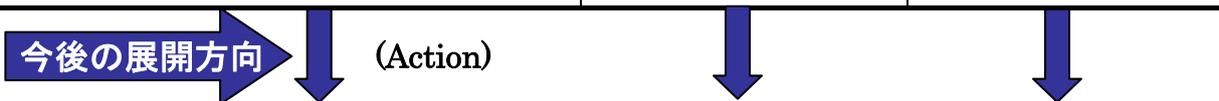
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	一体的事業の発注により、整備機材・人工調整が可能となり、事業費・人員の抑制が図られる。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当     
  B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要     
  D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
利用者の増加が図られ、安心して利用でき、心身ともにリフレッシュできる施設であるためには、定期的かつ計画的な周辺環境整備が必要不可欠である。		



<b>継続／現状維持</b>		
利用者の増加が図られ、安心して利用でき、心身ともにリフレッシュできる施設であるためには、定期的かつ計画的な周辺環境整備が必要不可欠である。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合     
 終了     
 休止     
 廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—58

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	観光施設整備事業			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	石井弘道	氏名
		職名		係長
		氏名	澤田朋朗	
事業の概要	日の出岬キャンプ場の整備から20数年が経過しており、腐食等による修繕が必要となり、腐食により危険となっている丸太階段や予めから利用者の要望が高かったスロープの整備を図った。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興	
	基本政策	5	観光の振興	
	単位施策	2	雄武観光の魅力化	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	千円	1,964千円	3,900千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	千円	1,964千円	3,900千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	観光客等施設利用者	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	整備後20数年が経過し、要改修箇所が増加する		要改修箇所の解消による利用環境の整備								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	要改修箇所の解消		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	利用者の怪我の未然防止、利用者が安全かつ気持ちよく利用できる環境が整えられる		① 整備箇所	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	5	実績値	5	達成度
目標年度	19年度										
目標値	5										
実績値	5										
達成度	100%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①施設の改修	丸太階段改修、スロープ取付け工事の実施										
②											
③											

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	利用者の怪我の未然防止、利用者が安全かつ気持ちよく利用できる環境が整えられる
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	本事業による利用者数の向上が直ちに発現するものとは限らないものの、本事業以降も改修箇所が発現するものと想定され、迅速かつ計画的な補修実施により、利用者のニーズに応えた施設の維持管理・運営が見込まれ、利用者増につながるものと判断する。
有効／概ね有効／課題あり		

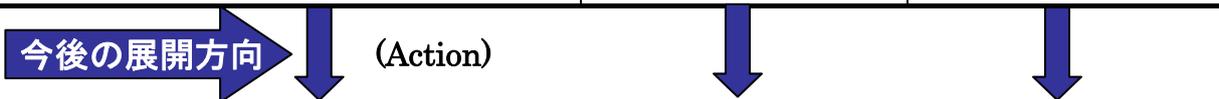
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	各年度における計画的な改修の実施により、改修箇所の老朽化等の拡大が最小限に抑えられ、修繕経費についても必要最低限に抑えられるものと判断する。また、迅速な補修の実施により利用者へのイメージアップにもつながり効果的と判断する。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当      B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要      D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
本事業による補修のみならず今後も要補修箇所が発現するものであり、補修箇所を適切に把握し、年次計画的な事業を進めることが適当である。		



<b>継続／現状維持</b>		
本事業による補修のみならず今後も要補修箇所が発現するものであり、補修箇所を適切に把握し、年次計画的な事業を進めることが適当である。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—59

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	青少年旅行村用途廃止事業			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	石井弘道	職名
				氏名
				係長
事業の概要	昭和50年整備以来、キャンプ場等として青少年の健全なレクリエーション施設として活用されてきた施設であるが、施設の老朽化、日の出岬地区の観光施設整備、多様化するキャンパーのニーズに対応できなくなり、また、年々利用者数が減少したことにより施設の廃止に至ったものである。			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業 <input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業		
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
	基本政策	5	観光の振興	
	単位施策	2	雄武観光の魅力化	
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	千円	683千円	千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	千円	653千円	千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	青少年旅行村施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	施設の老朽化、日の出岬地区の観光施設整備、多様化するキャンパーのニーズに対応できなくなった。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	施設の改修・集客数の増加が見込めるならば対応策を講じたものであるが、効果が見込めないものと判断される。			①	目標年度	年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	よって、耐用年数も経過しており施設の廃止となったものである。				目標値	実績値
		②		達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)						
①施設の廃止	事前にバンガローを希望者に無償譲渡、関係条例の廃止、青少年旅行村としての認定取消し、撤去による現状回復工事の施工、海浜地の管理者たる北海道に返還を行った。					
②						
③						

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	老朽化施設の放置は景観上も好ましくなく、立入者への事故発生等を未然に防ぐことにもなり、生活安全上適切な対応と判断される。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	老朽化施設の放置は景観上も好ましくなく、立入者への事故発生等を未然に防ぐことにもなり、生活安全上適切な対応と判断される。
有効／概ね有効／課題あり		

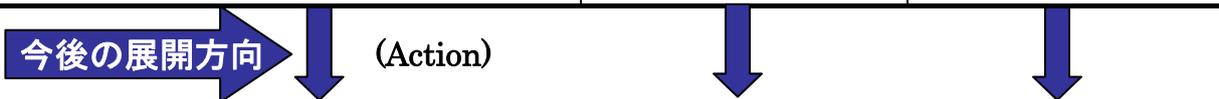
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	使用可能な設備を希望者に無償譲渡するなど、撤去等に関する経費の抑制が図られた。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当     
  B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要     
  D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
廃止に係る検討段階から計画的に事業が進められ、適正と判断される。		



<b>終了</b>		
本事業により、観光拠点のメインである日の出岬地区の観光施策がさらに重要となり、さらなるPR・集客戦略等を推進する必要がある。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合     
  終了     
  休止     
  廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号8—60

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	観光振興事業			
評価者	担当課・係名	産業振興課・商工観光係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	石井弘道	氏名
		職名	係長	氏名
				澤田朋朗
事業の概要	動員数が10万人とされる東京で開催されたフジテレビ系列子会社ディノスによる物産展示販売会に、町内3社が出展参加したものであり、雄武町及び雄武町の特産品のPRを図ったものである。			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業 <input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業		
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
	基本政策	5	観光の振興	
	単位施策	2	雄武観光の魅力化	
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	千円	237千円	千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	千円	237千円	千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	首都圏での雄武町及び雄武町の特産品の知名度をさらにPRする必要がある。		滞在型観光入込み数の増・特産品販売額の増		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	首都圏在住者の雄武町・町特産の浸透		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	滞在型観光入込み増・特産品販売高の増		①	目標年度	年度
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①物産展示販売参加に対する人的支援	町職員を派遣しての雄武町のPR・特産品のPRを行った。				
②					
③					

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	首都圏のみならず、道外地域における雄武町・町特産品のPRは継続実施を要するものとする。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	本事業のPR効果が直ちに発現しないかもしれないものの、地道なPR活動が有効と考える。
有効／概ね有効／課題あり		

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	出展参加業者担当者のほか、町職員については、必要最低限の人的支援であり、効率的と判断する。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当      B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要      D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
19年度で本事業は終了したものの、既存の特産品に加え、神門プロジェクトによるダッタンそば焼酎が完成した暁には、特産品全般を対象とした通年・定期的な町外への売込戦略が必要であり、今後新たな事業を計画し推進する必要がある。		

今後の展開方向

(Action)

<b>終了</b>		
19年度で本事業は終了したものの、既存の特産品に加え、神門プロジェクトによるダッタンそば焼酎が完成した暁には、特産品全般を対象とした通年・定期的な町外への売込戦略が必要であり、今後新たな事業を計画し推進する必要がある。		

\* 展開方向の区分

継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合     
  終了     
  休止     
  廃止

### 5 その他特記事項